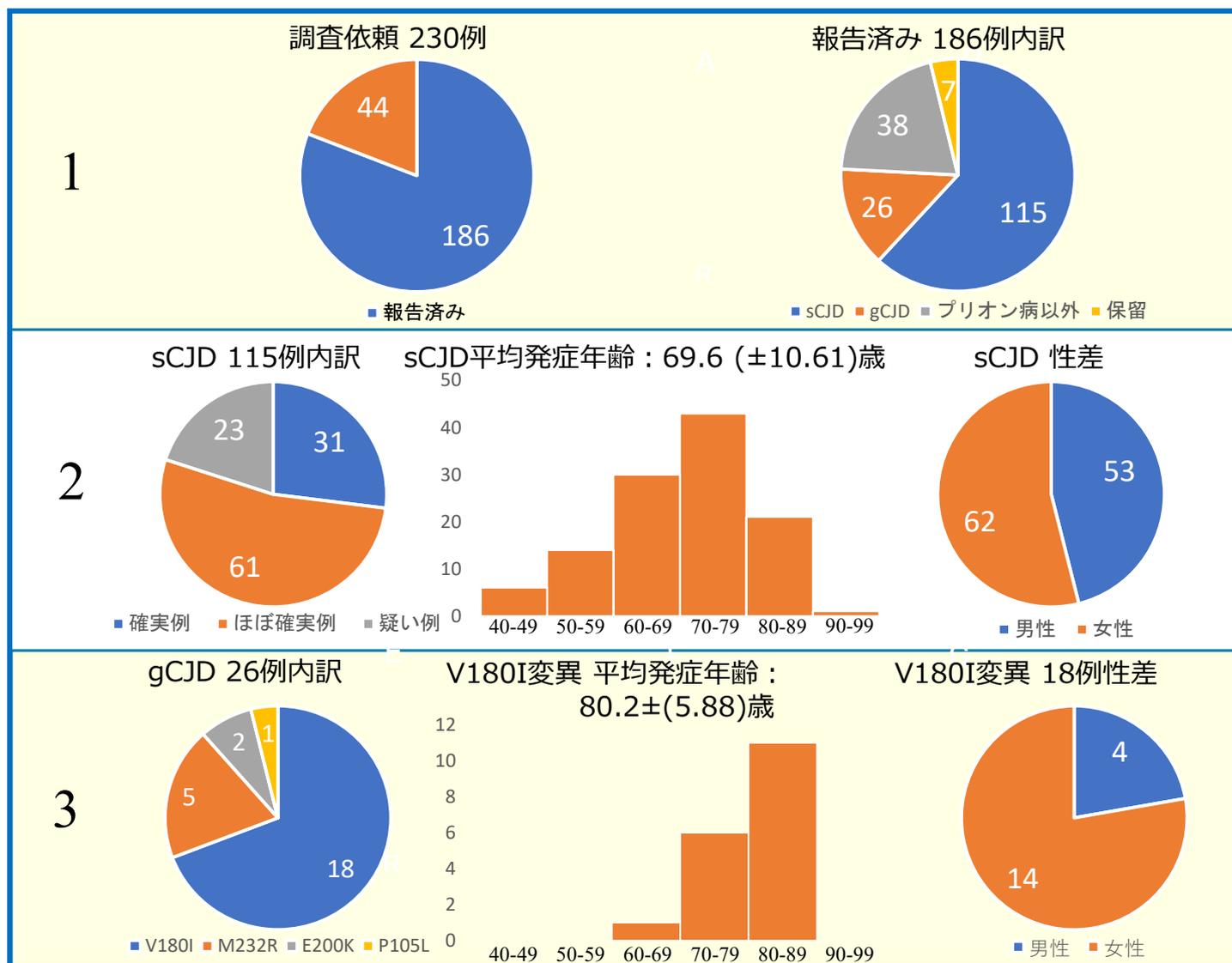


平成29年4月から令和5年2月までの愛知、岐阜、三重の3県における プリオン病サーベイランス結果

研究分担者：愛知医科大学神経内科 道勇 学



解 説

1. 期間中230例の調査依頼があり、このうち、検討委員会において報告したのは186例。内訳は、sCJD 115例、gCJD 26例、プリオン病以外の症例 38例、保留7例であった。
2. sCJD 115例(確実例31例、ほぼ確実例61例、疑い例23例)の平均発症年齢は69.6歳で、男女比は男性53例(46.1%)、女性62例(53.9%)であった。
3. gCJD 18例はV180I変異18例、M232R変異5例、E200K変異2例、GSS(P105L変異)1例。V180I変異症例は平均発症年齢80.2 (±5.88)歳で男性4例、女性14例であった。